

川崎異業種研究会（略称：川異研）は、昭和62年7月に設立した当所会員企業から集まった異業種交流のグループです。

川崎異業種研究会のホームページ <http://www.kawaiken.jp/>

6月定例会

6月11日(木)午後6:00より、川崎商工会議所会議室5にて、会員14名、オブザーバー2名、見学者1名の参加を得て開催した。

和光大学経済経営学部教授 原田尚幸氏を招き、「東京オリンピックがもたらす多様な変化と今後の動向」をテーマに講演は進められた。

過去のオリンピック開催国、スポーツビジネスや経済効果、オリンピックレガシーなどの説明がされた。



参加者は、オリンピックが一過性のイベントではなく、前後を含めた総合的な計画の必要性を感じた。

その後、会議室6にて懇親会を行い、終始和やかな雰囲気での親睦を深めた。



分科会

■4月分科会

4月1日(水)午後6:30より、高津市民館第6会議室にて、会員8名、学生2名の参加を得て開催した。

日本工業出版株式会社編集部 中森功氏を招き、「福祉、介護ロボットを考える」をテーマに講演は進められた。

介護ロボットの歴史を紐解き、現状や展望などが説明された。そして、電動、空圧、水圧のロボットについて、メリット・デメリットが述べられた。

その後、場所を移して懇親会を行い、ロボットの未来について大いに盛り上がり、散会となった。

■5月分科会

5月7日(木)午後6:30より、高津市民館第1会議室にて、会員6名、学生4名の参加を得て開催した。

允治社 代表社員・CSRコンサルタント 泉貴嗣氏を招き、「CSRセルフチェックによる企業経営の再確認」をテーマに講演は進められた。

CSRセルフチェックを行い、診断がされる予定であったが、各事業者の開示情報にばらつきがあり、簡単なセルフチェックと意義などが説明された。

その後、場所を移して懇親会を行い、各事業者の情報開示について活発な意見交換がされ、盛会裏のうちに終了した。

■6月分科会

6月4日(木)午後6:30より、中原市民館第1会議室にて、会員9名、学生6名の参加を得て開催した。

早稲田大学理工学部研究所研究員講師 石井裕之氏を招き、「社会実装志向型ロボット開発」をテーマに講演は進められた。

とりわけ、人に実装するタイプのロボット開発・使用状況などの説明がされた。

その後、場所を移して懇親会を行い、ガンダムの開発に取り組む事業所などの話で大いに盛り上がり、散会となった。

加入のお問い合わせは

事務局：麻生支所 TEL 044-952-1191